

■一般目標（GIO）

無歯顎の患者の口腔内と同様の三次元的関係に位置付けられた無歯顎模型上で全部床義歯を製作するために、その理論的背景、技術および製作方法を修得する。

■到達目標（SBOs）

- ・有床義歯技工学の意義と目的を説明できる。
- ・個人トレー、咬合採得の目的を説明できる。
- ・人工歯排列方法を説明できる。
- ・歯肉形成の目的を説明できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：火曜日 18:00～18:45

■オフィスアワー：岡田 真治 火曜日・17:00～17:45

今井 秀行 (imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 火曜日・17:00～17:45

■成績評価：前期は定期試験（80%）と平常試験（20%）で総合的に評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。

■注意事項：平常試験はシラバス記載以外にも随時行うことがある。

■授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第8回時に平常試験と解説を実施する。

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：岡田 真治：現在、歯学部歯科補綴学第Ⅰ講座に在籍しており、全部床義歯を専門とする歯科医師の立場から、口腔内で機能させる全部床義歯の必要性や理論を講義していく。

今井 秀行：歯科技工士として臨床経験をもとに本講義が補綴装置の製作や将来歯科技工士として就業するために重要であり、学ぶ場を提供したいと考える。

■関連教科：有床義歯技工学（1年，3年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月8日 岡田 真治	1. 有床義歯技工学概説 2. 有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識 (教)pp. 3-16	・有床義歯技工学の意義と目的を説明できる。 ・有床義歯の種類を説明できる。 ・有床義歯の特徴と適応症を説明できる。
第2回4月22日 岡田 真治	3. 全部床義歯の特性 4. 全部床義歯の製作順序 (教)pp. 19-27	・全部床義歯の構成要素を説明できる。 ・全部床義歯を分類できる。 ・全部床義歯の維持、安定および支持について説明できる。 ・全部床義歯の製作順序を説明できる。
第3回5月20日 今井 秀行	5. 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業 6. 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 1)咬合床製作のための作業用模型の処理 2)咬合床の製作 (教)pp. 28-47	・解剖学的ランドマークを説明できる。 ・研究用模型，作業用模型の説明ができる。 ・個人トレーの目的，製作方法を説明できる。 ・咬合採得の目的を説明できる。 ・咬合床の役割，製作方法を説明できる。

授業日・担当者	講 義 項 目	学 修 到 達 目 標
第4回 6月10日 今井 秀行	6. 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 3) 全部床義歯に用いられる咬合器 4) 作業用模型の咬合器装着 5) 咬合器の調節 6) ゴシックアーチ描記装置の取り付け (教) pp. 48-55	・作業用模型の咬合器装着方法を説明できる。 ・ゴシックアーチ描記法の目的を説明できる。 ・ゴシックアーチ描記装置の取り付け方法を説明できる。
第5回 6月24日 今井 秀行	7. 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 1) 人工歯 2) 人工歯排列 (教) pp. 56-76	・人工歯の種類, 特徴, 選択方法を説明できる。 ・有床義歯に付与する咬合様式を説明できる。 ・クリステンセン現象と調節彎曲を説明できる。 ・人工歯排列方法を説明できる。
第6回 7月8日 今井 秀行	7. 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 2) 人工歯排列 (教) pp. 60-76	・有床義歯に付与する咬合様式を説明できる。 ・クリステンセン現象と調節彎曲を説明できる。 ・人工歯排列方法を説明できる。
第7回 7月22日 今井 秀行	7. 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 3) 歯肉形成 4) ろう義歯の試適 (教) pp. 76-80	・歯肉形成の目的を説明できる。
第8回 7月29日 今井 秀行	8. 前期のまとめ 「平常試験」と解説 (教) pp. 3-16, 19-80	・第1～7回の講義内容について理解度を確認できる。 ・理解度の低い箇所について知識を深める。